資料2−③−3

③市が進める取組について

３．スマートシティ実現に向けた実証の実施について

スマートシティ実現に向けた実証の実施について

大阪スマートシティパートナーズフォーラムのプロジェクトとして、大阪府、及び協力企業との連携により、「金剛地区」をフィールドとして、ニュータウンの課題解決ともに、住民のQOL（生活の質）向上や、ICT技術の活用を促進するための実証をスタート。

実施概要

テーマ=「高齢者にやさしいまちづくり」

健康の三大要素「食事」・「運動」・「社会交流」をベースとした取組

地域の空きスペースで**身近な「買物場所」**を創設

無人野菜即売所の導入

キッチンカーの導入

地元産の野菜提供

ICTの視点を取り入れて実施

スマホによるキャッシュレス決済、情報発信（出店状況等）

1. 金剛地区において、キッチンカーの出店、野菜無人販売所の設置を行う。

2. 地区住民の買物利便性向上、外出・運動機会、交流機会の増加、にぎわいの創出を図る。

3. キャッシュレス決済の導入やスマホ活用講座の開催により、ICT技術にふれる機会を設ける。

次のステップとして、ICT機器を活用した健康づくり支援（健康アプリ・データの利活用）等への展開も検討

スマートシティ実現に向けた実証の実施について

●実施エリア・場所　（令和3年11月24日～順次開始）

金剛駅～銀座街～中央公園周辺を、にぎわい創出等の一体拠点（エリア）として、UR都市機構、金剛団地自治会、わっく金剛の協力を得て、実施場所を選定。

①金剛団地第2集会所前広場
■キッチンカーの出店
（12/14～、火曜日）

②∞KON ROOM
■野菜無人販売所設置
（11/24～、水・木曜日）

③わっくcafé
■スマホ活用講座の開催
（2月～実施予定）

実施体制　本市、大阪府、三井住友海上火災保険（株）、（株）Mellow、YACYBER（株）
※いずれも「大阪スマートシティパートナーズフォーラム」の構成団体。

スマートシティ関係プロジェクト（実証）の実施について

SDGs未来都市 富田林 ACT FOR 2030

●実施の様子

「近くでおいしいランチが食べれてうれしい」等の声もいただいている。

①金剛団地第2集会所前広場
■キッチンカーの出店（火曜日、11～18時）

・毎回、2台のキッチンカーが出店。
・週替わりで、様々なジャンルのメニュー提供。

1日20人～30人が利用。

回数を重ねる中で、徐々に定着し、利用者も増加していきている。

②∞KON ROOM
■野菜無人販売所設置（水・木曜日、10～18時）

・主に市内で営農する2農家が出荷。
・地元産のおいしい野菜を販売。

※出店・販売は、都合により変更となる場合あり。　※実証は、令和4年3月末まで（実施状況を踏まえ延長も検討）。

・まずは、地域の皆さんに取組を知ってもらうことを目的として目に見える場所で先行的に実施。

・地域の皆さんとの連携により、より効果的に実施できそうな場所等の発掘や地域実装をめざす。

スマートシティ関係プロジェクト（実証）の実施について

SDGs未来都市 富田林 ACT FOR 2030

●事業の効果検証等

（アンケート調査の実施）

STEP1　住民の皆さんの日常生活における買物やスマホ利用の実態を把握する。
→学生アルバイトによる対面（ヒアリング）形式での実施。

12/25　金剛銀座街商店街（金剛マルシェ・わっくcafeカレー食堂開催に合わせて）
1/10　金剛中央公園（金剛団地自治会主催の「どんど」会場にて）
その他　キッチンカーの出店場所や街頭、地域活動の場に伺い、随時実施。

→ 調査集計・分析中

STEP2　野菜販売・キッチンカーの利用実態、及びニーズや満足度等を把握する。　※2月～実施（予定）

（利用状況等の把握）

・データによる野菜販売・キッチンカーの利用者数、
キャッシュレス決済の利用状況等の把握・分析。

→ 調査・集計中

（実証における課題等の整理）　※実装に向けて現時点で把握している課題等。

■野菜無人販売
・キャッシュレス決済による無人販売をコンセプトとしているが、苦情・要望も含め、様々な現場対応が必要。

■キッチンカー
・電源確保が困難。
・雨の日などぬかるみができるため、アスファルトやコンクリート上での実施が望ましい。

アンケート結果や現状・課題等を踏まえ、便利で魅力あるサービス等の充実やICT技術の活用を促進をめざす。